

## 令和5年度地域包括支援センター事業中間報告（令和5年11月末時点）

## 印西市印旛地域包括支援センター

事業ごとの評価	
総合相談支援業務	<p>昨年度と同様に、相談内容の内訳では介護保険・認知症・家族に対する内容が増えており、一つの相談に様々な内容が複合している傾向が多く見られた。今後更に高齢分野以外の支援機関(障害など)との連携が欠かせない事を再認識した。</p> <p>圏域の民生委員から情報提供をいただき、連携を取る事で一命をとりとめる事が出来たケースもあった。各職員も、それぞれのケースに対しての寄り添い方、見立て・見極め・タイミングが重要であることを身をもって体験し、スキルの向上にもつながった。</p>
権利擁護業務	<p>直接虐待についての対応はなかったが、虐待が疑われるケースの相談はあったため、虐待を未然に防ぐように関りを引き続き続けていく。消費者被害についての相談実績はなし。</p>
包括的・継続的ケアマネジメント業務	<p>日頃から、介護支援専門員とは、相談しやすく良好な後方支援が出来る様心掛けてきた。</p> <p>家族間も関係性が複雑化しており、家族との連絡調整も密に行っている。複合化する課題解決に向けて、介護支援専門員に寄り添いながらともに取り組んでいる。</p>
地域ケア会議推進事業	<p>地域思いやりケア会議を1回、地域ケア推進会議を1回実施した。地域思いやりケア会議に関しては、年単位で関わりのあるケースについて、関係者がどこまで関りをそれぞれ持てるか課題を掘り下げて話し合ういい機会を持つことが出来た。地域ケア推進会議については、印旛圏域の民生委員を対象に、「困った人を見過ごさない」をテーマに、困った人を見て見ぬふりをせずに救い上げる手立てを具体的に話し合い、次につなげる機関の周知を行った。</p>

在宅医療・介護連携推進事業	<p>在宅医療・介護連携、認知症対策推進会議に出席して市の事業計画を共有した。</p> <p>訪問看護事業所一覧の更新と、近隣病院連携室との連携体制づくりに努めた。(連携室周り)</p> <p>市民向けの在宅療養に関する勉強会を5圏域包括支援センター保健師看護師会で実施予定(1月予定)。</p>
認知症施策推進事業	<p>認知症カフェを6回計画し、5回実施した。その都度、感染症対策を講じながら行い、個別相談にも対応した。印旛圏域で関わりのある訪問看護事業所、福祉用具貸与事業所、有料老人ホーム、美容事業所等に講演を依頼した。様々な視点から高齢者や認知症に関しての学びを多く持つことが出来た。</p> <p>認知症初期集中支援チームの対応実績は「1」。一方で、認知症疾患医療センターの相談窓口の活用を行う事で、迅速に医療に繋げることが出来た実績もある。</p> <p>認知症サポーター養成講座は、未実施。年度末までに、民生委員を対象として実施予定。</p>
生活支援体制整備事業	<p>JA 食料品の移動販売も2年目を迎え軌道に乗り、販売場所を交渉により拡充している。酒々井の移動パン販売車も今年より導入、買い物に困っている高齢者に人気を呼んでいる。戸外で行うカフェ(あおぞらカフェ)、にっこりカフェ、幸齢サロンもボランティアが中心になって開催を続けている。</p>

## 令和5年度事業中間評価（総括）

\*相談件数は昨年より減少した。減少した要因として、センター職員が、3名中2名が新型コロナウイルス陽性者、一人が濃厚接触者となった期間があり、訪問の自粛などが挙げられる。相談に対しては、迅速な実態把握や、心配な情報を入手した時の訪問など、各職員がアウトリーチの手法で地域住民に寄り添う支援に努めてきている。

\*NPOのフードバンクから食料確保に困窮している地域住民に対し、地元農家からの新鮮な野菜、生活協同組合からの白米、コストコからの長期保存食料の提供があり、横のつながりを作る良いきっかけ作りが出来つつある。食料確保に困窮している地域住民に提供することができた。

\*第2層生活支援コーディネーター不在の欠員期間が5か月間続き、生活支援体制整備事業の実施については、十分な事業展開が出来なかった。来年度「地域のためにできること」「地域住民のために」取り組めるよう業務に邁進して行こうと職員一同に共通認識を持った。

\*対人援助職として、身に着ける接遇の技術の向上を今一度振り返り、各人、①何をわかるように話せるかが知性、②何を話さないかが品性、③どう伝えるかが人間性、これらを念頭に日々の業務に取り組んでいこうと士気を高めている。

\*昨年同様、印旛包括の重点目標として、印旛地域の住民の皆様は今地域で起きている事、今後起きるであろうことを知っていただき、住民同士が自ら地域課題を認識し解決出来る様に動機づけを行う事が大切である事を学んだ。これからも様々な地域組織と連携し、また、共に活動し、今以上に互助活動が盛んになる様、取り組みを推進して行く。

\*複雑化しているケースに対しても、柔軟な対応・見立て・見極め・タイミングに気を付けながら今後も包括内チームワークよく当たる事を心掛けていく。